

令和4年8月31日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

当会は、令和4年度より、県内JAがお客さまの安定的な資産形成に貢献できるように、その取組みを支援する県域組織として、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を制定しています。

したがって、「お客さま本位の業務運営に関する取組状況およびK P I 実績値の公表について」は、令和3年度までの取組内容としています。

広島県信用農業協同組合連合会

I.取組状況

1 お客さまへの最適な商品提供 【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取扱いました。なお、当会は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客さまのニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っており、それにより以下のとおり商品が増減しております。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(令和4年3月時点)>

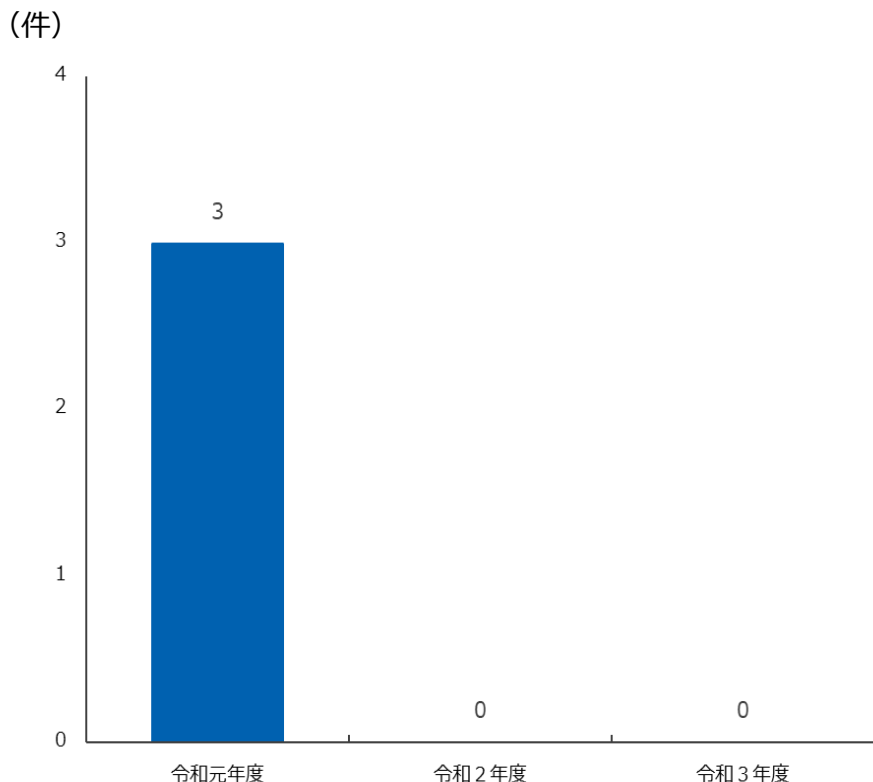
カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	3 (前年度末：4)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：4)
REIT型	2 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

I.取組状況

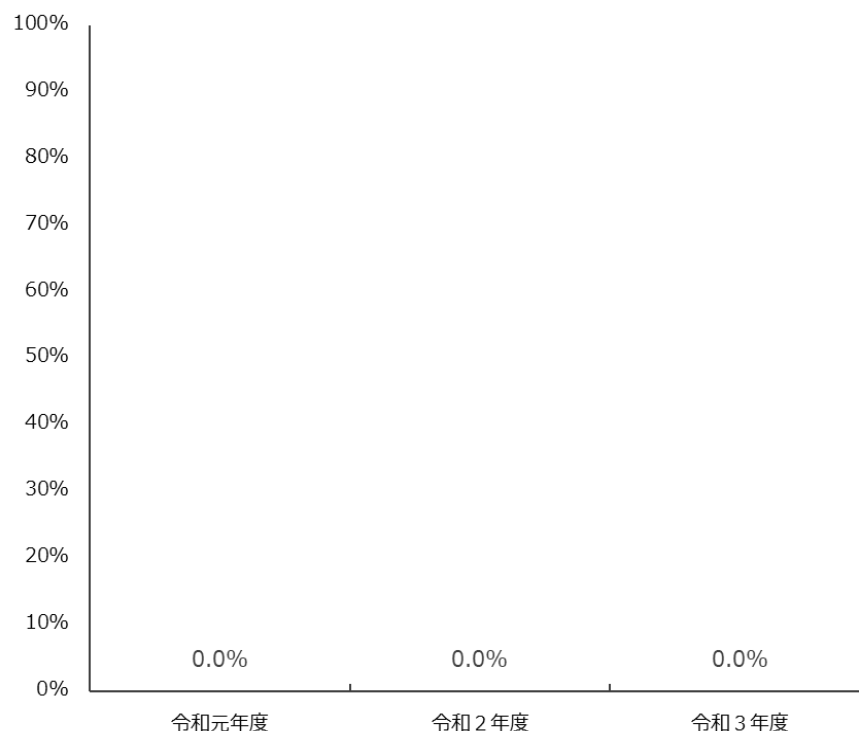
2 お客様本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- お客様に安定的な運用成果をご享受いただくために、お客様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案しました。なお、令和2年度および令和3年度については契約件数はありません。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I.取組状況

2 お客様本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項についての説明や必要な情報を十分にご提供しました。

3 利益相反の適切な管理【原則3本文および（注）】

- JAバンクでは、お客様への商品選定や情報提供にあたり、お客様の利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しました。

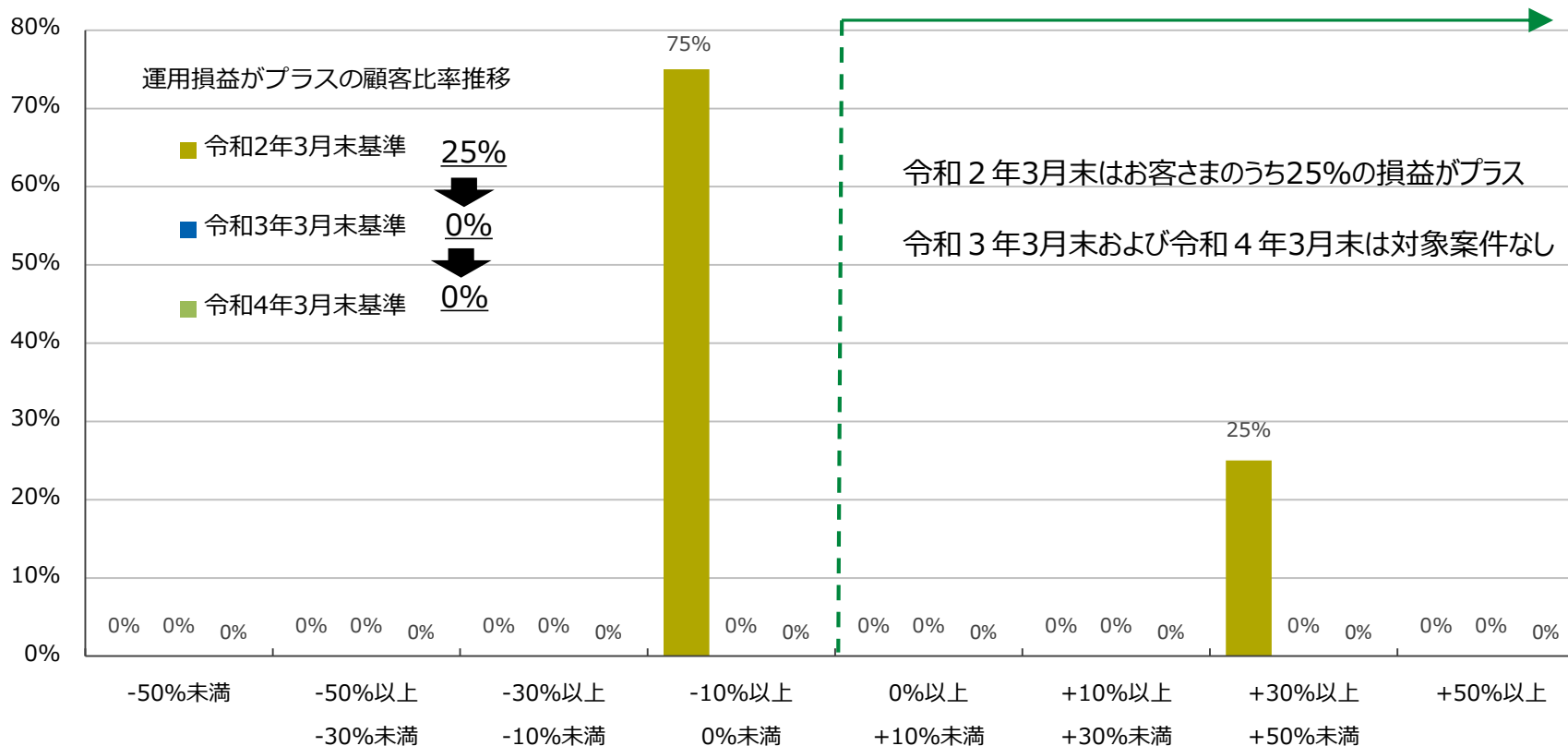
4 お客様本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築【原則2本文および（注）、原則6（注5）】 【原則7本文および（注）】

- JAバンクでは、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客様本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、各種研修や勉強会の実施、資格の取得を推進しました。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率

- 令和3年3月末時点および令和4年3月末時点では、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案していましたが、対象となる案件はありません。

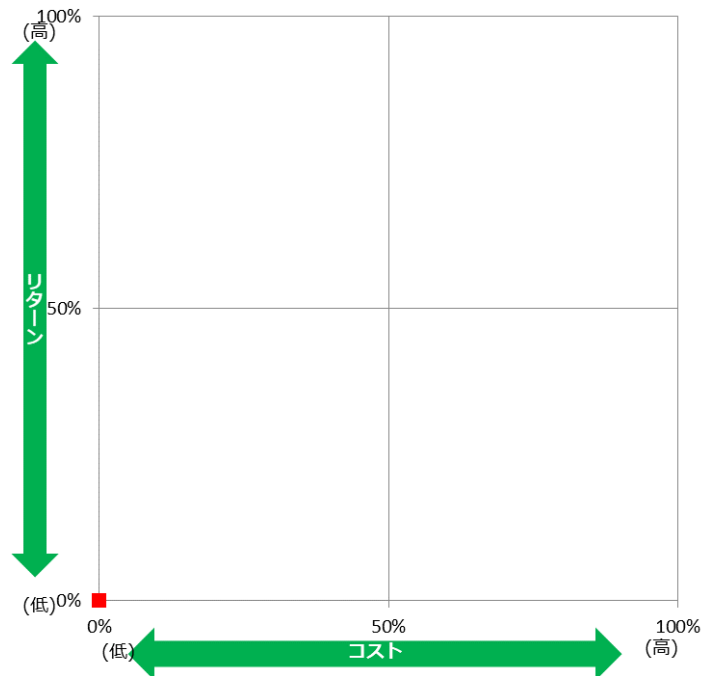


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

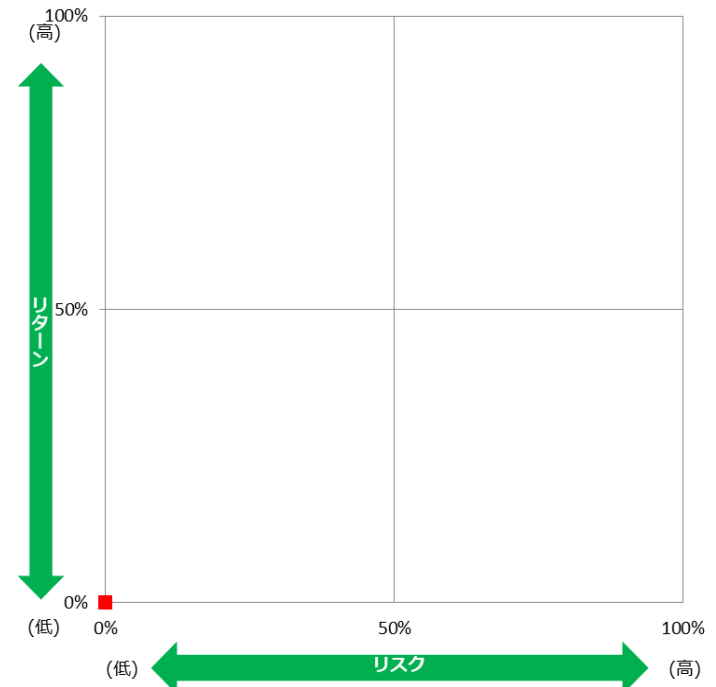
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (令和4年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リスク・リターン・コストを算出するものですが、令和4年3月末時点では対象となる案件はありません。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



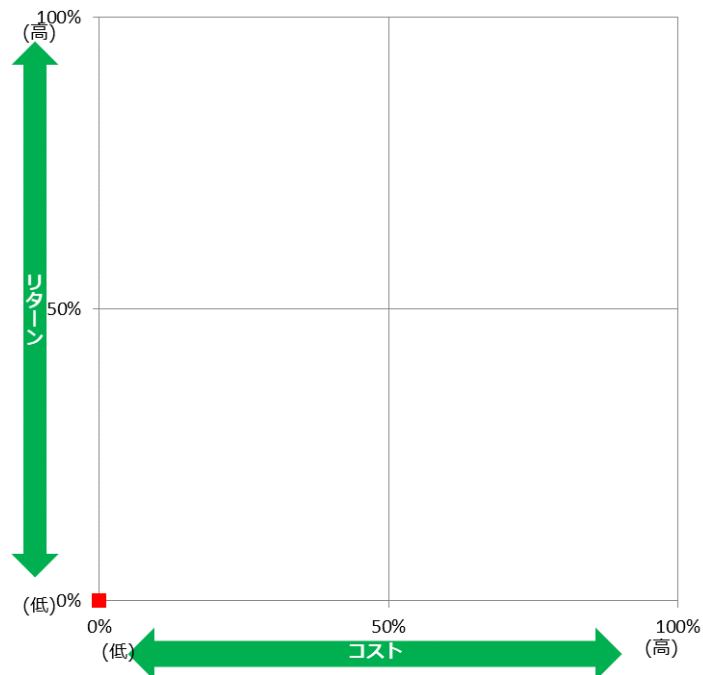
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

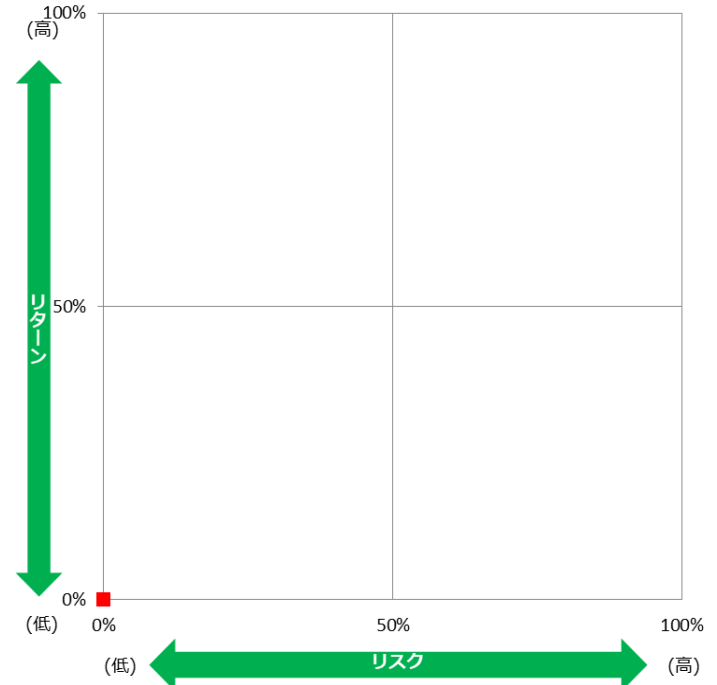
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (令和3年3月末)

- 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リスク・リターン・コストを算出するものですが、令和3年3月末時点では対象となる案件はありません。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



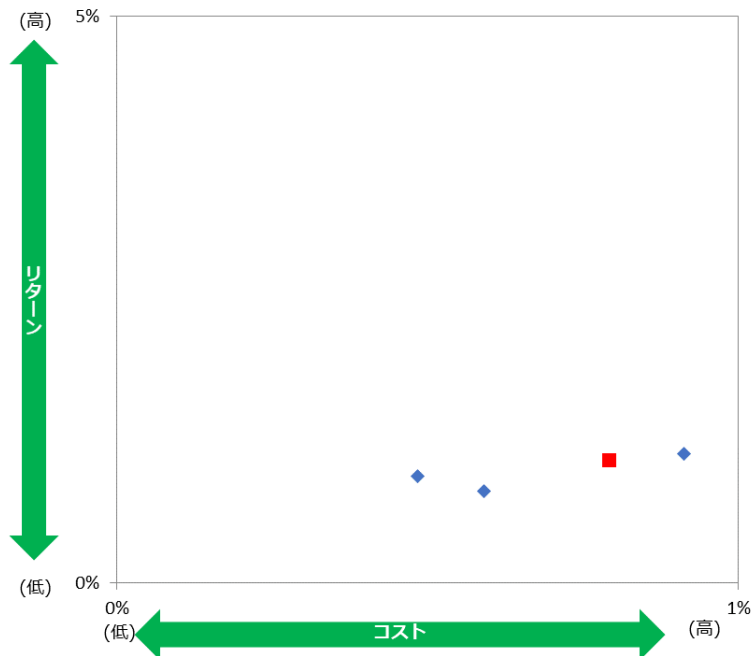
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

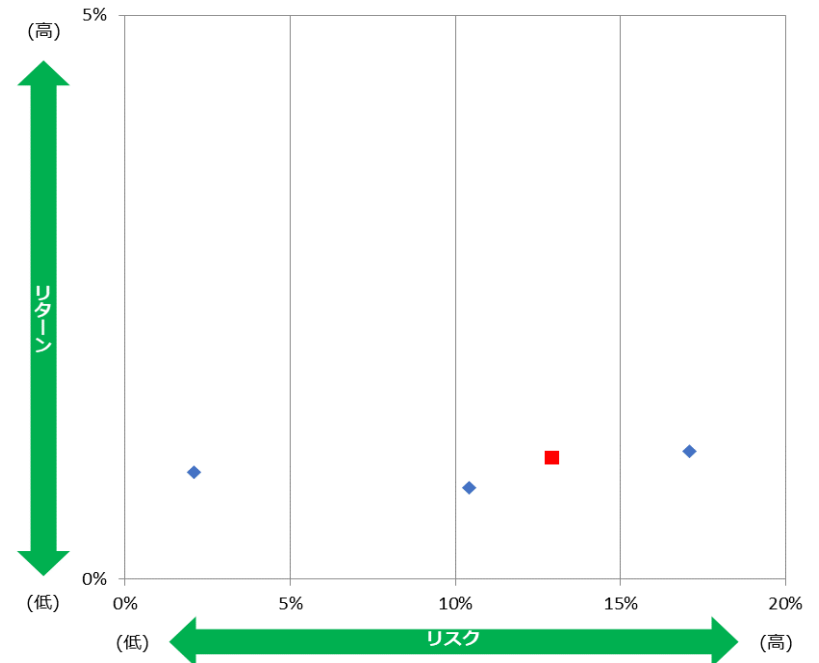
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (令和2年3月末)

- 令和2年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.79%、平均リスク12.93%に対して、平均リターンは1.08%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



- ※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、9ページに記載しております。
- ※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (令和2年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	1.14%	17.09%	0.91%
2	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	0.94%	2.07%	0.48%
3	セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	0.81%	10.41%	0.59%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		1.08%	12.93%	0.79%

※ 令和2年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は3本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。